

えがおになあれ

64

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

未来の出雲を担う 子どもたちを すこやかに 育む活動

出雲市社会福祉協議会では、市民の皆さんとともに「誰もが安心していきいきと暮らせる出雲市づくり」をめざしてさまざまな活動に取り組んでいます。

地区社会福祉協議会やボランティアグループへ活動助成を行い、親子が集うサロンや子育て相談、子どもと高齢者の交流会、子育て講演会、遊び場の遊具補修などの子育て支援活動を行っています。

また、市民参加で行う「たすけあいボランティア活動」のひとつとして、いろいろな困難を抱える子育て中の世帯へのサービス提供も実施しています。

協議会のホームページには、「みんなの福祉掲示板」のコーナーを設けて、地域から寄せられた親子で楽しめる福祉施設等でのイベントや、子育てに関するセミナー等の情報を掲載しています。「社協の活動紹介」のコーナーでは、地区で行われ

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

る子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした福祉活動の様子を紹介しています。ぜひのぞいてみてください。

●出雲市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.izumoshakyo.jp>
(執筆：出雲市社会福祉協議会)



視覚に障がいのある職員による目が見えなくてもできる硬貨当てゲームの様子です。国富小学校の児童と一緒に、誰もが仲間外れをつくらないための学習を行いました。

おたすね／出雲市社会福祉協議会

☎233781

樹木のドクター

Vol.20



樹医からのアドバイス

まもなくサクラの季節がやってきます

サクラは日本の文化に馴染みの深い植物です。公式には国花ではないものの、国花の一つであるかのように扱われています。

サクラの原産地はヒマラヤ近郊と考えられ、太古の時代には石斧の柄、弓に巻かれた樹皮に使われ、古墳から出土しています。

【文学・民衆とのあゆみ】

花の持つ風情・優雅さから、奈良・平安時代には、古事記・万葉集・古今和歌集に詠まれて文学と関わり、花見の文化が始まります。鎌倉・室町時代になると盛んに植えられ、詩歌に詠まれ、花見の宴が催され、秀吉の「吉野の花見」「醍醐の花見」が有名です。

江戸時代になると、俳句・長唄・歌舞伎へとつながり、花見の宴は民衆にも広がります。今日では多くの外国人の人にも愛されています。

【開花までにおきたい作業】

休眠期のせん定は木の中の水分も少なく、また、腐朽菌も活発ではないので、この時期に「枯れた枝・枝先が垂れ下がりが芽の少ない芽の無い枝・小枝がホウキ状になっている枝」を切ります。作業後、

切り口から腐朽菌の侵入を防ぐために癒合剤を塗りましょう。

【病害虫の活動】

病害虫の活動の多くは、気温20～23℃、湿度50～80%の頃が最も活動が旺盛と言われています。観察は気象状況にもよりますが、4月の中旬頃から注視し初期の対処が重要です。

(出雲市樹医 永瀬 明)



出雲市の自慢 種原町の橋詰長者の桜

おたすね／出雲市樹医センター ☎226497

出雲弥生の森博物館情報

ギャラリー展

観覧無料

好評開催中 3月20日(月・祝)まで

「はそう

—須恵器の前方後円墳?!—



原山遺跡磨製石剣

次回開催 3月22日(水)～6月19日(月)

「山陰最古の弥生遺跡

—原山遺跡は何を語るか—

文化財保護審議会委員講座
～文化財のプロが出雲の歴史を語る～

**第3回 出雲大社の
「神仏隔離」と
「神仏分離」**



3月11日(土)
14:00～16:00

◆講師：井上 寛司氏
(島根大学名誉教授)

◆受講料：300円

◆定員：80人

※事前に電話・FAX・博物館ホームページで
申し込んでください。

速報展

観覧無料

「ふるさとの記録を守る

好評開催中

—古文書を未来へ伝えるために— ～4月10日(月)



大社町鷺浦に来た
船の記録
「加田屋文書」
(1790～1818年)



出雲弥生の森博物館

〒693-0011 大津町2760

☎25-1841 FAX 21-6617

<http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>

yayoi@city.izumo.shimane.jp

開館時間 9時～17時 (入館は16時30分まで)
休館日 毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日)
入館料・常設展観覧料 無料



よすみちゃん

荒神谷博物館情報

荒神谷椿の森まつり 3月25日(土)・26日(日)



「錦魚葉椿」

クイズラリー、お楽しみ♪抽選会
生花展、苗木販売、お茶席 ほか

◆散策マップ配布：3月1日(水)～31日(金)

◆椿苗販売：3月25日(土)～31日(金)



ホール展示

観覧無料

「創作着物展

～春のおとずれ～

3月6日(月)～31日(金)

出雲市在住の染色作家
による作品展



ミュージアムショップ通信

「四十二浦巡りの旅」

「宝印帳」「絵馬」

「四十二浦巡カレンダー」

本を片手に島根半島を
散策してみませんか?



定例講演会 第139回

3月18日(土) 13:30～15:00

演題：「文化財この1年(仮)」

講師：花谷 浩(出雲市市民文化庁学芸調整官)

資料代：300円 申込不要

ゼミ形式「風土記談義」～出雲国風土記～

3月19日(日) 10:00～12:00

講師：平野 芳英・杉岡 直子

受講料：300円 申込不要

最新情報はホームページ内のブログやFacebookをご覧ください♪

荒神谷博物館

Archaeological Museum of Kojindani

〒699-0503 斐川町神庭873-8

☎72-9044 FAX 72-7695

<http://www.kojindani.jp>

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで) 休館日 展示室のみ毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)

